

平成 31 年度		1 学年		理科 A	
目標	自然の仕組みや働きなどについての理解を深め、科学的な見方や考え方を養うとともに、自然を大切にする態度を育てる。				
前期目標	・自分の健康や身近な事象の変化への興味を持たせる。	前期評価の観点	興味関心を持ち、ふさわしい態度で授業に臨むことができる。		
			実験や授業の準備片付けなどを自分からすることができる。		
			人の体のつくりや働きについて理解することができる。		
			身近な現象、事象について理解を深めることができる。		
月	前期学習内容		時数	キャリア教育の視点	
4 月	○理科ガイダンス 1 健康なくらし ・人体の仕組み ・体の部分の名称		3	・人体の仕組みを知り、自分の体と照らし合わせて考えることができる（知識） ・身体の不調時や病気などを相手に伝える際に適切な表現ができる（技能・態度）	
5 月	1 健康なくらし ・人体の仕組み ・消化管 ・消化管のはたらき ・歯のはたらき		3	・人体の仕組みを知り、自分の体と照らし合わせて考えることができる（知識） ・身体の不調時や病気などを相手に伝える際に適切な表現ができる（技能・態度）	
6 月	1 健康なくらし ・人体の仕組み ・心臓のはたらき ・血液にはたらき ・肝臓と腎臓		2	・人体の仕組みを知り、自分の体と照らし合わせて考えることができる（知識） ・身体の不調時や病気などを相手に伝える際に適切な表現ができる（技能・態度） ・日々の食事の中で栄養などを意識しながら生活することができる。（技能）	
7 月	1 健康なくらし ・人体の仕組み ・人体解剖図を作ろう		1	・人の内臓の配置と働きを知る（知識）	
9 月	1 健康なくらし ・人体の仕組み ・骨と関節		3	・人の骨と関節の働きを知る（知識）	

後期 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病気やけがの予防や処置について知り、健康に関心を持つ。 ・身近な自然の事物・現象について理解する。 ・生活に関係のある物質の性質や働きについて理解し、適切に取り扱う。 	後期 評価 の 観点	興味関心を持ち、ふさわしい態度で授業に臨むことができる。
			病気と予防について教科書を使って積極的に調べる。
			地球と自然について理解を深めることができる
月	後期学習内容	時数	キャリア教育の視点
10月	1 健康なくらし <ul style="list-style-type: none"> ・人体の仕組み <ul style="list-style-type: none"> ・骨と関節 ・ヒトと動物の骨のちがい 	3	生活に適した骨のつくりについて知る。(知識)
11月	1 健康なくらし <ul style="list-style-type: none"> ・確認テスト 2 病気・けが <ul style="list-style-type: none"> ・病気とその予防 	3	病気やけがについての基礎知識、対処法を知る(知識) 学んだ知識を活かし、適切な判断ができる(技能)
12月	2 病気・けが <ul style="list-style-type: none"> ・病気とその予防 	3	病気やけがについての基礎知識、対処法を知る(知識) 学んだ知識を活かし、適切な判断ができる(技能)
1月	2 病気・けが <ul style="list-style-type: none"> ・病気とその予防 ・けがと処置 	2	病気やけがについての基礎知識、対処法を知る(知識) 学んだ知識を活かし、適切な判断ができる(技能)
2月	3 自然とくらし <ul style="list-style-type: none"> ・天気 	2	気象や天気について学ぶ(知識) 情報媒体から得られる天気の情報など知り得た知識を使って、自分で考えて行動する。(知識・技能・態度)
3月	3 自然とくらし <ul style="list-style-type: none"> ・天気 	1	気象や天気について学ぶ(知識) 情報媒体から得られる天気の情報など知り得た知識を使って、自分で考えて行動する。(知識・技能・態度)
		年間予定時数	26